

## エスコ ラストフリーザー

ESCO RUSTFREEZER

一般名称	変性エポキシ樹脂さび固定剤				
適用規格	—				
系統	弱溶剤可溶性ケチミン硬化1液変性エポキシ樹脂系さび固定剤				
主な用途	【さび面補修塗装用】				など
適用素材	鉄	亜鉛めっき	アルミ	ステンレス	コンクリート
	○	△	×	×	×
	※ 消耗した亜鉛めっきの補修のみ適用可				
特長	1) 素地調整が十分に出来ない現場環境下でも、下塗塗装の前にさび面への補修塗装を行うことでさびの生成を抑制する。 2) 『浸透性さび固定化機能』により、さび層内に深く浸透し、脆弱なさび層全体を強力に固定化する。 3) 塗料用シンナーで希釈可能であるため、低臭気で作業環境に優しく、旧塗膜のリフティング防止効果がある。 4) 1液形であり、ベース/硬化剤を混合する手間がない。				
塗料性状	塗料密度(比重)	1.31			
	溶剤密度(比重)	0.80			
	加熱残分	67%			
法令など		一液			
	劇物表示 (品名・含有率)	—			
	労安法上の 表示有害物	キシレン メチルイソブチルケトン			
	使用有機 溶剤種別	第3種有機溶剤等			
	消防法による 危険物区分	第1石油類(非水溶性)			
	硬化剤の成分 による区分	ケチミン			
	ホルムアルデヒド 放散等級	—			
製品情報		一液			
	荷姿	4.0 kg 2.0 kg			
	混合比(重量比)	—			
	主な色(色相)	グレー(N-5 近似)			
		※色相は近似であるため、塗板等にてご確認下さい。			
素地調整		○素地調整方法は、ISO8504:2000に準拠する。 ○被塗面の異物(研削材、ダスト、油脂汚れ、水分)や粉化物、浮きさびや層さび、健全でない旧塗膜等は塗装前にスコッチブライトなどで完全に除去してください。 ○残存するさびの状態は、カタログに記載する写真程度まではケレンを実施してください。 その際、電磁膜厚計で測定したさびの厚みが100μm以下になるようにしてください。			
使用方法	調合方法	下記のシンナーを規定内で混入し、十分攪拌した後使用する。			
	熟成時間	不要			
	使用シンナー	塗料用シンナーA			
	希釈率(重量比)	ハケ、ローラー 0~10%			
	エアレススプレー	—			
	塗装条件	—			

# エスコ ラストフリーザー

## ESCO RUSTFREEZER

### 使用量と膜厚

塗装方法	標準膜厚		標準使用量 注)
	Dry(μm)	Wet(μm)	g/m <sup>2</sup> /回
エアレススプレー塗り	-	-	-
ハケ・ローラー塗り	-	-	200

注)標準使用量は、個々の条件によって異なります。

### 乾燥時間 塗装間隔 可使時間

項目		5°C	10°C	20°C	30°C	40°C	
乾燥時間	指触	2時間	2時間	1時間	1時間	1時間	
	半硬化	12時間	12時間	6時間	4時間	4時間	
標準塗装間隔 注)	最短	24時間	24時間	10時間	8時間	8時間	
	最長	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	
可使時間		—	—	—	—	—	

注)上記数値は施工管理上の参考データです。規格に規定がある場合はそれを優先してください。

実施工においては塗膜異常がないことを確認したのちに、次工程塗装してください。下記の主な適用上塗塗料を塗り重ねる場合です。

作業禁止条件 気温 5°C以下、湿度(RH%)85以上

主な適用 下塗塗料	強溶剤:	—
	弱溶剤:	—
	ハイソリット:	—
	水性:	—
主な適用 上塗塗料	強溶剤:	—
	弱溶剤:	エスコNBマイルドK、エスコNBマイルド、エンガイン など
	ハイソリット:	—
	水性:	—

耐熱温度(大気バクロ環境) 短時間 200°C耐用、長時間100°C耐用  
(短時間とは、概ね1時間以内を目安としてください。)

### 施工管理 用特数値

希釈率(wt%)	SVR(%)	WET/DRY係数
0	46.0	2.2
5	42.5	2.4
10	39.5	2.5

【理論WET膜厚】=【目標膜厚】÷【SVR】 式または  
【理論WET膜厚】=【目標膜厚】×【WET/DRY係数】式で  
希釈率毎の管理WET膜厚が算出できます。  
※SVR(Solid Volume Ratio)体積固形分であります。

### 安全情報

- 安全情報に関する詳細な内容は安全データシート(SDS)をご参照ください。
- 容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご確認の上、ご使用ください。
- 塗料が皮膚につくと人によってはカブレを起こすことがあるので、皮膚につかないように取り扱いください。

### 貯蔵条件

本製品は特に水分の影響を受けないように保管してください。  
高温多湿環境・直射日光を避け、密閉した状態で冷暗所で保管ください。

### 使用上の 注意事項

- 1) 屋内や閉所で塗装ならびに塗料を取り扱う際は、換気を十分に行い火気厳禁として下さい。
- 2) 貯蔵により、塗料のニス浮き等が発生するため、缶を振るなどして十分攪拌してから使用してください。
- 3) 本塗料は空気中の水分で硬化反応が進むため、開封後、残りの塗料を保管する際は、密栓して保管してください。  
なお、開封した塗料はなるべく早めにご使用ください。
- 4) 気温が5°C以下や高湿時の場合の塗装は避けて下さい。
- 5) 常時没水される部分への使用は避けて下さい。
- 6) 高温(40°C以上)環境に塗料が置かれると著しい増粘が生じるので塗料の保管は十分注意して下さい。
- 7) 塗料が皮膚に付くと、人によってはカブレを起こすことがあるので、皮膚につかないように取り扱いのこと。  
本品の安全衛生上の取り扱いについては、技術資料031「エポキシ樹脂塗料の使用上の注意」を参照して下さい。
- 8) 塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細については、SDS(安全データシート)を参照して下さい。